

石子理事長が叙勲（瑞宝小綬章）受章！！

本会の石子理事長が平成28年春の叙勲「瑞宝小綬章」を受章されました。

この勲章は、国家または公共に対して、積年の功労者に授与されるもので、今回の対象者は全国で僅か24名の快挙です。

この栄誉を称え、本会主催の祝賀会を執り行ったところ、42名の方に駆けつけていただきました。

演出副理事長の「我々仲間の喜びと励み」との主催者挨拶や多くの祝辞、随所で繰り広げられた談笑とともに、料理や美酒、祝品、祝電などが花を添え、会場は華やかな祝賀ムード一色に包まれました。



大勢の仲間が駆けつけて大いに盛り上げた祝賀会



笑顔で花束を受け取り、勲章を披露する理事長ご夫妻

当会ホームページが全面リニューアル

平成27年9月に、本会のインターネットホームページを開設し、2年以上経過いたしました。

PR不足などによりアクセス数が今一つの状況にもあり、イメージチェンジと情報メンテナンスを兼ねて、昨年7月にリニューアルを行ないました。

HOME、法人概要、森林トラスト運動、北海道植樹の日・育樹の日、活動紹介、森林・樹木葬、会報（森のささやき集）や役員名簿など、本会の動向や取り組みなどがご覧いただけます。

“北海道に森を創る会”などで検索できますので、ぜひご活用ください。



リニューアルしたホームページのHOMEの画面

編集後記

日本ハムファイターズの日本一制覇やコンサドーレ札幌のJ1昇格、冬季オリンピック招致の動きなど、北海道スポーツ界の昨年は嬉しい話題で賑わいました。一方で、水害などの天災に見舞われた地域も多く、森林の重要さがクローズアップされた年にもなりました。改めて被災地の皆様に心からお見舞い申し上げます。

本会は、石子理事長の勲章受章、特集の「北海道に森を創る会」の名にふさわしい様々な活動など、北海道の森づくりにとって「進捗と布石」の一年となりました。今後の伸展が期待されます。

森のささやきに関する意見や感想をお寄せください。皆様のご協力をお願いいたします。

発行／北海道に森を創る会 事務局

編集担当／岡田（連絡先 090-7087-2741）

◆お知らせ◆

①事務局の勤務体制

昨年6月から下記事務所で半常駐しています。
＜勤務時間＞ 火曜日、木曜日の10:00～16:00

②新会員

昨年、新たに北海道議会議員10名を含む17名の方が入会されました。

小澤光二様（七飯町）、石井良夫様（北広島市）、尾谷薫様（札幌市）、佐藤和弘様（函館市）、木戸口和裕様（札幌市）、栗原和久様（札幌市）、山越元様（岩見沢市）、藤川雅司様（札幌市）、川澄宗之介様（小樽市）、太田憲之様（千歳市）、北口雄幸様（土別市）、笠井龍司様（釧路市）、富原亮様（七飯町）、赤根広介様（登別市）、浅野貴博様（留萌市）、清水拓也様（帯広市）、久保秋雄様（紋別市）

札幌市中央区北4条西5丁目1番地（北海道林業会館5階）

電話／FAX (011)522-6570 Eメール moritukuri@nifty.com ホームページ http://www.moritukuri.org/

森のささやき

会員ジャーナル 第11号



NPO法人
北海道に森を創る会

2017年1月 発行



特集

全道に展開する森林再生事業の紹介
～北海道の「揺るぎない森林王国」を目指して～

「炭木記念の森・八雲」の主伐跡地に造林作業に取り組む参加者の皆様

特集

全道に展開する森林再生事業の紹介

～北海道の「揺るぎない森林王国」を目指して～

本会は、十余年にわたり森林トラスト運動による未来の森・函館、茨木記念の森・月形の実績や成果に加え、濱田記念の森・砂川、茨木記念の森・八雲、元気の森・えりもなどにおいて、森づくりを推進しております。そして、現在森林面積が全国の22%強を誇る北海道の「揺るぎない森林王国」を切望し、全道的な森林再生の事業も種々進めております。本特集では、これらの事業概要や取り組み状況などを紹介いたします。

(1) 北海道植樹の日、育樹の日の制定運動

森林は、木材の生産のみならず、水源のかん養、土砂流失の防止、二酸化炭素の吸収など、様々な公益機能をもたらしております。

特に北海道は、有史以前から森林の恩恵（金額に換算すると年間約11兆円）を受けながら、今日があります。

本会では、2018年の北海道開基150年に向け、以下の「北海道植樹の日・北海道育樹の日」の条例制定を推進しております。

- ◇北海道植樹の日(案)
毎年5月4日(みどりの日)
- ◇北海道育樹の日(案)
毎年10月第3土曜日

これからの150年は「森林に恩返しする期間」と位置づけ、植樹運動、育樹運動による道民が一体となった北海道の森づくりを目指します。

(2) 森林・樹木葬

樹木葬は、墓石の代わりに樹木を墓標として遺骨を埋葬して故人を弔う自然志向のお墓で、日本では1999年以降に登場しました。

本会は、2005年の発足当時から森づくりの一環として樹木葬の普及を目指しましたが、道内の時期尚早の風潮により、活動を停止しました。

昨今は、高齢化社会の訪れとともに、お墓の在りようがマスコミなどで取り上げられ、自然葬としての樹木葬が注目されております。

- ◇本会は森林・樹木葬と命名し、以下の視点に沿った普及活動を展開しております。
- * 北海道の森づくりを促進するための方策
- * 現存の森林を墓標とするドイツ型を指向
- * 北海道内に森林・樹木葬モデルの早期確保
- * 道内における森林・樹木葬の普及と定着

(3) 地方自治体などとの連携強化

積極的なノウハウ提供や人的支援などにより、地方自治体との連携を図り、北海道の森づくりを展開します。すでに月形町、北斗市、八雲町、えりも町などで成果が上がっています。

(4) 北海道元気の森の支援

森とのふれあいや実体験を通じて、子供達の「生きる力を育てる」を目的に、北海道庁水産林務部が取り組んだ事業です。平成17年度から全道市町村に順次整備中で、現在179ヶ所に設置済みです。

本会は、えりも町庶野の「元気の森」を手始めに、平成26年に広葉樹、平成28年には「バットの木」アオダモを地元の皆様と植栽しました。今後、「他の元気の森」の支援も検討します。

(5) 北海道議会議員との連携

党派を超え、北海道の森づくりに積極的な道議会議員の皆様との連携を図ります。

<本会の森づくり実践例(未来の森・函館)>

地元企業の佛西武建設様から5haの土地をお借りして、10年間にわたり春の植樹、秋の育樹などの森づくりを進めてきました。

野ねずみの食害など、数多くの難関を克服し、今では、春になると桜の花が咲き乱れる森林の様相を呈しています。



(左)平成18年、ゴミ捨場化した土地で森づくりを開始
(右)平成27年、10年の成果が実り、素晴らしい林に

(1) 未来の森・函館

- * 春季行事(5月15日、40名参加)
渡島東部森林室や函館サンモリッツクラブの皆様と当会員(札幌・函館)とが協働で、秋に装着した野鼠食害防止用袋の取り外し、樹木や標柱の状態点検などを実施した。



遅く成長した木々と作業に取りかかる参加者

- * 秋季行事(10月28日、34名参加)
春季行事と同様のメンバーにより、台風の被害にあった苗木や標柱・標識の整備、食害防止の野鼠用袋や鹿防止用ネットの取り付け作業などを行った。



台風被害を受けた樹木と食害防止の共同作業

(2) 茨木記念の森・八雲

- * 主伐跡地の造林(5月14日、21名参加)
委託先の山越郡森林組合や八雲町の皆様と高齢樹木主伐跡地に針広混交林の造成作業(植樹)を行い、作業後には、八雲町自慢のジーンズカンで親交を深めた。



主伐跡地(約3ha)の植樹で汗をかき、懇親会で舌鼓

(3) 第67回北海道植樹祭の参加

- * 北斗市さじひき高原(5月15日、28名参加)
北斗市誕生10周年と北海道新幹線開業記念の植樹祭に、噴火湾、大沼、駒ヶ岳などの眺望に感動しながらの参加となった。



2000本を植栽した植樹祭と主催者代表の高橋知事挨拶

(4) 元気の森の支援

- * えりも町庶野(6月5日、40名参加)
地元の皆様とバットの木のアオダモ200本の植樹、下刈りなどの維持管理作業を行った。

平成29年度の主な予定

今年の主な行事予定を紹介いたします。詳細が決まり次第、別途ご案内申し上げます。

(1) 平成29年度通常総会

- 予定日 5月19日(金)
- 場所 ぱんけい苑(札幌市中央区盤渓)
- * 我満嘉明氏(札幌市森林組合長)の講演予定

(2) 未来の森・函館

- ① 春季行事 5月26日(金)
- ② 秋季行事 10月中旬

(3) 茨木記念の森・八雲

- ① 保育作業 5月26日(金)

(4) ふれあいの森視察、元気の森・えりも植樹

- 予定日 6月23日(金)
- 場所 陸別町ふれあいの森、えりも町元気の森

今後の展望

(1) 森づくりの推進

- ① 森林トラスト地の森づくり推進(濱田記念の森・砂川、茨木記念の森・八雲など)
- ② 森林・樹木葬モデル地の確立および候補地における森づくり
- ③ 森づくりに伴う間伐材などの活用

(2) 森づくりの支援

- ① 森林・樹木葬に関連する支援
- ② 北海道や地元との連携による「道内各地の元気の森」の支援

